



T&D保険グループ

**Try & Discover** (挑戦と発見) による  
価値の創造を通じて、  
人と社会に貢献するグループを目指します



# 株 主 通 信

平成30年度 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

## Contents

ページ

- 1 ごあいさつ
- 2 トップインタビュー
- 4 C S R の取組み～SDGs達成への貢献～
- 5 連結業績ハイライト
- 6 子会社の状況 太陽生命
- 7 子会社の状況 大同生命
- 8 子会社の状況 T & D フィナンシャル生命
- 9 グループ各社の主な商品・サービス情報
- 13 グループインフォメーション
- 14 株式会社のお手続きについてのQ&A

株式会社 T&Dホールディングス

証券コード：8795

# ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、グループ各社の好調な契約業績などにより、当社グループの業績は順調に進捗しております。

今後もT&D保険グループは、社会と価値を共有し、持続的に成長する生命保険グループを目指し、取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

株式会社T&Dホールディングス

代表取締役社長 上原弘久



## グループ 経営理念

Try & Discover (挑戦と発見) による  
価値の創造を通じて、  
人と社会に貢献するグループを目指します

## グループ 経営ビジョン

### 〈お客さまからの視点〉

私たちは、最優の商品・サービスの提供により、お客さま満足度のトップを目指します

### 〈株主・投資家・市場からの視点〉

私たちは、成長に向けた新たな挑戦により、安定的・持続的に企業価値を向上させ、確固たる存在感のある大手生保グループを目指します

## Q 平成30年度中間期の業績について教えてください。

A 平成30年度中間期の決算は、経常利益が852億円（前年同期比2.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は455億円（同3.2%増）となり、通期業績予想の790億円に対し順調に進捗しました。

当社グループは、太陽生命・大同生命・T&Dフィナンシャル生命を中心とするグループです。当中間期の生命保険会社3社合算の保険料等収入は、注力している医療・介護保障商品や就業不能保障商品等の販売等が好調であったことから、対前年同期から1,642億円増加し、8,545億円となりました。

また、グループの企業価値を表すEV(エンベディッド・バリュー)\*は2兆6,360億円(前年度末比2,293億円増)、当中間期に獲得した新契約の価値を表す新契約価値は818億円(前年同期比166億円増)となり、堅実な契約実績を背景に着実に積み上げることができました。

この先も経済や金融市場などグループを取り巻く環境は大きく変化していくことが想定されますが、T&D保険グループでは、引き続き経営の健全性を維持しつつ、安



定的・持続的な企業価値の増大を図ってまいります。

\*EV(エンベディッド・バリュー)は、5頁の用語解説を参照ください。

## Q 中期経営計画の進捗状況を教えてください。

A 当社グループでは平成28年度から3年間を計画期間とする「T&D保険グループ 中期経営計画 Try & Discover for the Next Stage～成長領域拡大の3年～」を策定しております。当計画に基づき、国内生命保険事業をコアとし、これまでに確立された事業基盤に加えて、成長領域のさらなる拡大に取り組んでおります。

家庭市場に強みを持つ太陽生命では、発売3年目も堅調な販売が続く「ひまわり認知症治療保険」に加え、平成30年4月より発売した「働けなくなったときの保険〔I型〕」、同10月より発売した「ひまわり認知症予防保険」など、シニア層のニーズに合致した商品を提供、「かけつけ隊」をはじめとする各種サービスの充実とあわせ商品・サービスを一体的に展開することで、シニアマーケットにおけるトップブランド構築に向けた取組みを推進しております。

中小企業市場に強みを持つ大同生命では、引き続き好調な「法人市場の就業不能保障分野」に加え、「法人・個人一体となったトータルな保障」の推進により、経営者個人・個人事業主市場の開拓を強化しております。さらに、中小企業の健康経営の普及支援を目的とした大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」の導入など、質の高い商品・サービスのご提供により、中小企業市場におけるリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものとするべく、取組みを推進しております。

金融機関や来店型ショップ等の乗合代理店チャネルを担うT&Dフィナンシャル生命では、4月に収入保障保険のさらなる充実を図ったことにより、新契約高・保有契約高ともに前年を上回る水準で推移しております。

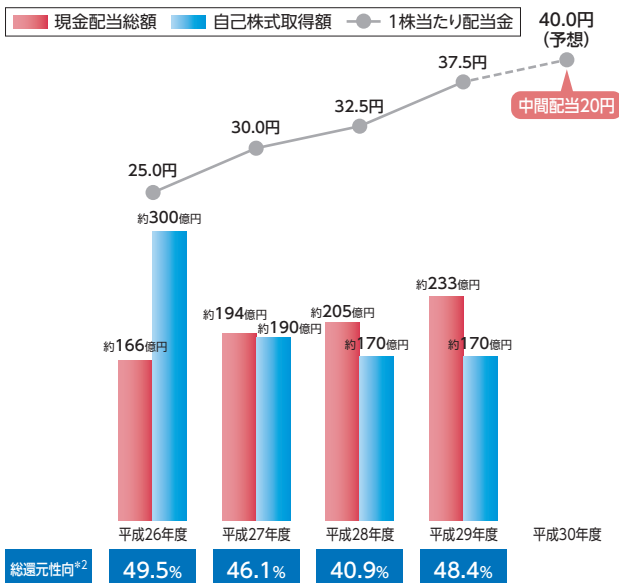
現行中期経営計画の最終年度となる平成30年度も、当社グループの経営理念である、「Try & Discover (挑戦と発見) による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します」に基づき、グループ役員が一人となり企業価値の安定的・持続的な増大を実現してまいります。

## Q 平成30年度中間配当 (株主還元) について教えてください。

A 当社グループでは、当社およびグループ会社の経営の健全性維持に留意し、グループとして必要な内部留保を確保したうえで株主価値の向上に取り組み、安定的な利益配分を実施していくことを基本方針としております。

この方針のもと、株主還元水準を「実質利益\*1の40%以上」として、「安定的な現金配当」と「機動的な自己株式の取得」をあわせて実施しております。

<株主還元実績>



平成30年度の中間配当につきましては、1株につき20円とさせていただきます。期末配当を含む平成30年度の年間配当予想は1株につき40円としております。これは平成29年度の年間配当である1株につき37円50銭に比べ、2円50銭の増配となります。

また、平成30年5月～6月に取得価額総額約170億円の自己株式取得を行いました。引き続き収支の状況や自己資本の状況を踏まえ、機動的に実施していきたいと考えております。

\*1 実質利益とは、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額を加算して算出したものとなります(税引後)。

\*2 総還元性向 = (現金配当総額 + 自己株式取得額) / 実質利益

## Q コーポレート・ガバナンスに対する取組みについて教えてください。

A 当社は、東京証券取引所が上場会社に求めている「コーポレートガバナンス・コード」の趣旨を尊重し、主な原則に対する取組方針を「コーポレート・ガバナンス基本方針」に定め、当社ホームページにて開示しております。

平成30年度の主な取組みとしましては、次の2点です。

- ① 当社取締役の経営責任をより明確化するとともに、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制を目的として、取締役の任期を2年から1年にいたしました。
- ② 当社および生命保険会社3社の取締役・執行役員を対象に中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意識を高めることを目的として、新たな株式報酬制度を導入いたしました。

今後とも、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向け、コーポレート・ガバナンスのより一層の充実に取り組んでまいります。

# T & D 保険グループのCSRの取組み～SDGs達成への貢献～

T&D保険グループは、人と社会に貢献するグループを目指し、「より良い商品・サービスの提供」「人権の尊重」「地球環境の保護」をCSRの重点分野として選定しています。当社グループは、事業の特徴や強みを活かしたグループCSRの取組みを通じて、世界共通の目標であるSDGs\*達成への貢献を推進してまいります。

\*SDGs: Sustainable Development Goals。2015年国連サミットで採択された持続可能な世界を目指して取組む17の目標。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの17の目標

### より良い商品・サービスの提供



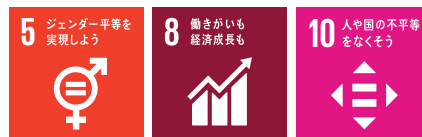
- ・シニアのお客さまのお手続きのサポートを行う「かけつけ隊」サービスの提供。
- ・認知症予防をサポートするアプリのお客さまへの提供。
- ・健康増進の取組みを促す「健康促進ソリューション」など「健康経営®」\*の実践をサポートする中小企業向けプログラムの開発と支援。

\*「健康経営®」は特定非営利活動法人 健康研究会の登録商標です。



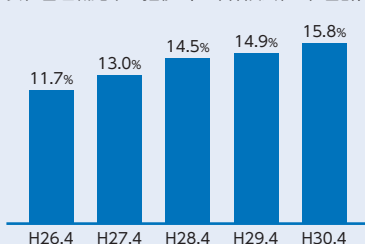
“かけつけ隊” サービスイメージ

### 人権の尊重



- ・女性管理職登用目標を設定し、着実に登用を推進。(平成30年4月女性管理職比率15.8%)
- ・育児休暇等の制度充実や総労働時間の縮減など、仕事と家庭を両立させるワーク・ライフ・バランスの取組みを推進。
- ・多様な人材が活躍できる職場づくりの一環として、障がいのある方が安全で働きやすい環境を整備。

女性管理職比率の推移 (生命保険会社3社合計)



### 地球環境の保護



- ・森林資源の還元と緑化保全を目的として取組む森林保全の活動。
- ・再生可能エネルギー発電事業など、環境負荷低減に役立つ事業等への投融資の取組み。
- ・電力使用量・事務用紙使用量の削減、グリーン購入比率の向上など、環境負荷低減活動の推進。



森林整備作業

CSR活動の詳細は、CSRレポート2018をご覧ください。 <http://www.td-holdings.co.jp/csr/report/pdf/full/CSRreport2018.pdf>

(単位：億円)

	平成29年度 中間期	平成30年度 中間期
新契約年換算保険料	530	766
第三分野の新契約年換算保険料	134	278
保有契約年換算保険料	15,060 <sup>※2</sup>	15,245
第三分野の保有契約年換算保険料	2,119 <sup>※2</sup>	2,304
新契約高 (※1)	29,884	47,877
保有契約高 (※1)	660,107 <sup>※2</sup>	673,981
経常収益	9,210	11,003
保険料等収入	6,902	8,545
資産運用収益	1,945	2,134
その他経常収益	361	323
経常費用	8,374	10,151
保険金等支払金	5,807	5,771
責任準備金等繰入額	795	2,536
資産運用費用	432	513
事業費	1,021	1,008
その他経常費用	317	320
経常利益	835	852
親会社株主に帰属する中間純利益	441	455
連結ソルベンシー・マージン比率	1,061.8% <sup>※2</sup>	1,036.9%
Group MCEV	24,067 <sup>※2</sup>	26,360

※1 新契約高、保有契約高は、個人保険、個人年金保険の合計に、大同生命の「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)」の介護定期保険(無配当介護保障定期保険)の介護保険金額を加算しています。

※2 平成29年度末実績を記載。

## 保有契約年換算保険料

・保有契約年換算保険料は1兆5,245億円となり、前年度末から1.2%増加しました。

## 保有契約高

・保有契約高は67兆3,981億円、前年度末から2.1%増加となり、過去最高を更新しました。

## 親会社株主に帰属する中間純利益

・親会社株主に帰属する当期純利益は、455億円となり、前年同期から3.2%増加しました。

## Group MCEV

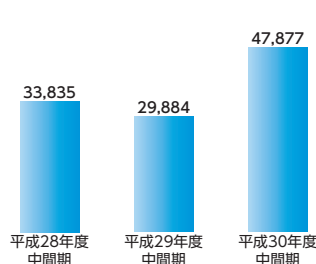
・Group MCEVは、主に新契約の獲得や国内金利の上昇等により、前年度末から2,293億円増加し、2兆6,360億円となりました。

## 用語解説 (EV)

生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つで、株主のみならず帰属すると考えられる貸借対照表から計算される「修正純資産」と保有契約から計算される「保有契約価値」を合計したものになります。なお、MCEVとは、金融市場で取引される金融商品の価格と整合的に評価したEVとなります。

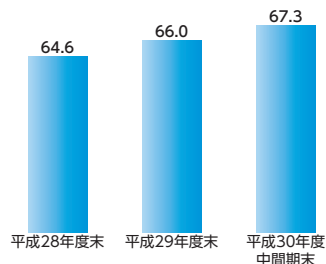
## 新契約高

(単位：億円)



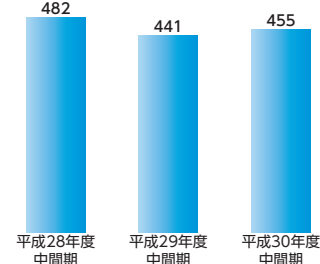
## 保有契約高

(単位：兆円)



## 親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：億円)



(単位：億円)

	平成29年度 中間期	平成30年度 中間期
新契約年換算保険料	111	190
第三分野の新契約年換算保険料	65	84
保有契約年換算保険料	6,184 ※	6,164
第三分野の保有契約年換算保険料	1,057 ※	1,088
新契約高	8,078	5,467
保有契約高	211,544 ※	205,762
保険料等収入	2,014	3,781
保険金等支払金	2,697	2,743
経常利益	374	383
中間純利益	200	208
基礎利益	304	288
順ざや額	42	109
ソルベンシー・マージン比率	835.1% ※	820.8%
MCEV	8,250 ※	8,969

※ 平成29年度末実績を記載。

### 第三分野の新契約年換算保険料

・第三分野の新契約年換算保険料は、「ひまわり認知症治療保険」の販売が堅調だったこと等により、前年同期から28.4%増加しました。

### 中間純利益

・中間純利益は208億円となり、前年同期から3.7%増加しました。

### MCEV

・MCEVは、保障性商品の堅調な販売を背景に、新契約価値の着実な積み上げ等により、前年度末から719億円増加し、8,969億円となりました。

### ●格付け (平成30年9月30日時点)

■ 格付投資情報センター (R&I)  
保険金支払能力

■ 日本格付研究所 (JCR)  
保険金支払能力格付

■ スタンダード & プアーズ (S&P)  
保険財務力格付け

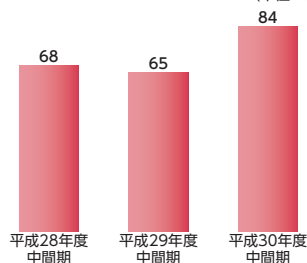
AA-

AA-

A

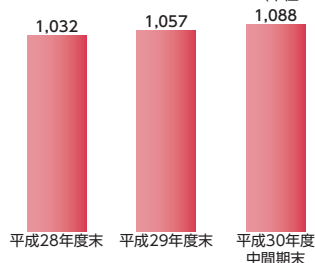
### 第三分野の新契約年換算保険料

(単位：億円)



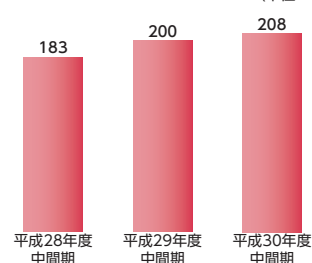
### 第三分野の保有契約年換算保険料

(単位：億円)



### 中間純利益

(単位：億円)



(単位：億円)

	平成29年度 中間期	平成30年度 中間期
新契約年換算保険料	339	514
第三分野の新契約年換算保険料	67	193
保有契約年換算保険料	7,716*	7,922
第三分野の保有契約年換算保険料	1,036*	1,190
新契約高	19,921	40,507
就業不能保障商品・介護保障商品の新契約高	5,535	23,734
保有契約高	428,035*	446,655
就業不能保障商品・介護保障商品の保有契約高	56,529*	77,554
保険料等収入	3,884	4,045
保険金等支払金	2,449	2,464
経常利益	441	450
中間純利益	229	237
基礎利益	525	543
順ざや額	169	212
ソルベンシー・マージン比率	1,206.2%*	1,186.6%
MCEV	14,732*	16,242

※平成29年度末実績を記載。

## 新契約高・保有契約高

- ・平成30年4月の料率改定による個人定期保険の好調や平成29年10月発売の介護定期保険の好調維持を主に、新契約高は前年同期から103.3%と大幅に増加しました。
- ・新契約高における就業不能保障商品（Jタイプ・Tタイプ）および介護保障商品（収入リリーフ・介護リリーフ・介護定期保険）を合計した新契約高は大きく伸展し、前年同期から328.8%増加しました。
- ・保有契約高は、44兆円を超え、過去最高となりました。

## 中間純利益

- ・中間純利益は、介護定期保険の好調維持に伴い、責任準備金等繰入額が増加したものの、一般勘定運用収支が増加したことにより、前年同期から3.5%増加しました。

## MCEV

- ・MCEVは、主に新契約価値の着実な積み上げや国内金利の上昇等により、前年度末から1,509億円増加し、1兆6,242億円となりました。

## ●格付け（平成30年9月30日現在）

■格付投資情報センター（R&I）

保険金支払能力

**AA-**

■日本格付研究所（JCR）

保険金支払能力格付

**AA-**

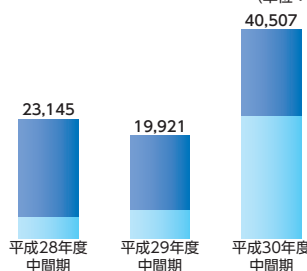
■スタンダード&プアーズ（S&P）

保険財務力格付け

**A**

## 新契約高

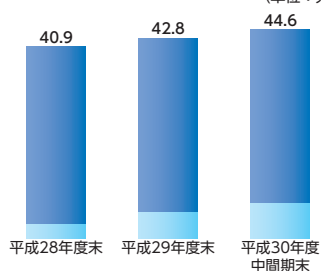
(単位：億円)



■個人保険・個人年金保険 ■就業不能保障商品・介護保障商品

## 保有契約高

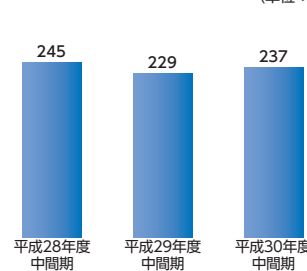
(単位：兆円)



■個人保険・個人年金保険 ■就業不能保障商品・介護保障商品

## 中間純利益

(単位：億円)





(単位：億円)

	平成29年度 中間期	平成30年度 中間期
新契約年換算保険料	79	61
第三分野の新契約年換算保険料	0	1
保有契約年換算保険料	1,160*	1,157
第三分野の保有契約年換算保険料	25*	25
<b>新契約高</b>	<b>1,884</b>	<b>1,902</b>
平準払商品の <b>新契約高</b>	967	1,265
<b>保有契約高</b>	<b>20,527*</b>	<b>21,563</b>
保険料等収入	982	694
保険金等支払金	650	550
経常利益	12	14
<b>中間純利益</b>	<b>7</b>	<b>8</b>
基礎利益	△ 5	△ 7
順ざや額	△ 12	△ 9
ソルベンシー・マージン比率	1,258.3%*	1,123.4%
<b>MCEV</b>	<b>1,026*</b>	<b>1,050</b>

※ 平成29年度末実績を記載。

**新契約高・保有契約高**

- ・新契約高は、4月に商品改定した収入保障保険の販売が好調であったことにより、前年同期から18億円増加しました。
- ・保有契約高は、新契約高の増加等により、前年度末から1,036億円増加しました。

**中間純利益**

- ・中間純利益は、主に競争が激化している外貨連動型の一時払終身保険の販売が減少したことにより、保険料等収入が288億円減少した一方、責任準備金繰入額が209億円減少したことにより、前年同期並みとなりました。

**MCEV**

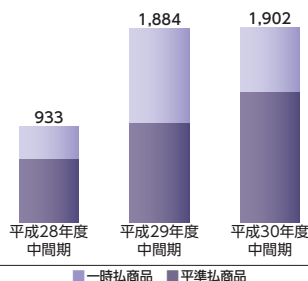
- ・MCEVは、外国金利の上昇に伴い、外貨連動型の一時払商品にかかる将来の資産運用収益が増加したことにより、前期末から24億円増加し、1,050億円となりました。

**●格付け** (平成30年9月30日時点)

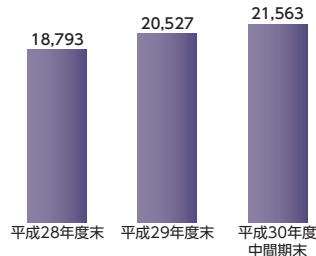
■ 格付投資情報センター (R&I)	■ 日本格付研究所 (JCR)
保険金支払能力	保険金支払能力格付

**AA<sup>-</sup>**
**AA<sup>-</sup>**
**新契約高**

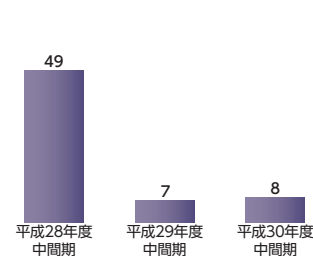
(単位：億円)


**保有契約高**

(単位：億円)


**中間純利益**

(単位：億円)



## グループ各社の主な商品・サービス情報

T&D保険グループの生命保険会社3社は、市場・チャネル・商品が三位一体となった独自のビジネスモデルを構築しております。当中期経営計画では、次の基本戦略に基づく最優の商品・サービスの提供により、お客さま満足度のトップを目指し、安定的・持続的に企業価値の増大を図ってまいります。

			
市場	家庭市場	中小企業市場	乗合代理店市場
チャネル	営業職員	営業職員 代理店(税理士等)	乗合代理店 (金融機関、来店型ショップ)
商品	死亡・医療・介護保障を中心とした 総合生活保障	定期保険 (死亡保障) 就業不能保障 等	一時払保険 (外貨参照型等) 収入保障保険 等
基本戦略	「訪問による対面サービスの強化」「時代の変化を先取りした商品開発」「営業職員チャネルのさらなる充実」の三位一体となった販売を推進することにより、シニアマーケットでのトップブランドを構築し、業績を拡大する	中小企業市場における生命保険事業の“リーディングカンパニー”としての地位をより確固たるものとするべく、コアビジネスをさらに進化させ、法人・個人両分野を一体として成長領域を開拓し、業績を拡大する	「商品ラインアップの多様化」「代理店販売網の拡大」「お客さまサービスの向上」を推進し、乗合代理店市場においてお客さまや代理店から選ばれる会社となり、業績を拡大する

太陽生命は、本格的な超高齢社会「人生100歳時代」の到来に向け、シニアのお客さまにより大きな安心をお届けするために、高品質の商品・サービスの提供に取り組んでおります。

### 時代の変化を先取りした商品開発

#### 『ひまわり認知症予防保険』を発売

平成30年10月より、認知症の予防をサポートする『ひまわり認知症予防保険』を発売いたしました。『ひまわり認知症予防保険』は「世の中から認知症をなくしたい」というコンセプトのもと、発売以降ご好評いただいた『ひまわり認知症治療保険』の特徴である「認知症になった場合の保障」に加え、「認知症にならないための予防」の段階からお客さまをサポートする保険となっております。

サポート機能の一例として、特則の付加によりご契約の1年後から2年ごとにお受け取りいただける「予防給付金」を利用して、簡単な血液検査でMCI(軽度認知障害)のリスクを判定する「MCIスクリーニング検査」などの認知症予防サービスをご利用いただけます。



### 超高齢社会のニーズに合った業界最高水準のサービスを目指して

#### かけつけ隊サービスの進化 ～「10,000人のかけつけ隊」～

平成28年4月より、安心、便利に給付金等のご請求手続きができるよう、専門知識のある内務員が直接お客さまやご家族のもとへ訪問し、お手続きのサポートを行う『かけつけ隊サービス』を開始いたしました。さらに、平成30年8月より、携帯端末のTV電話機能を活用\*することで、専門知識のある内務員と同等のお支払サービスを営業職員もご提供できるようになりました。これからもサポートをご希望されるすべてのお客さまを訪問し、迅速なお支払サービスの提供につとめてまいります。

\*TV電話機能を活用して本社専門部署と連携することで、専門性の高いご質問等にも対応します。

#### 契約時のご家族の同席・ご家族登録制度の活用の推進

シニアのお客さまにご契約いただく際には、誤認防止等のためにご家族の同席を積極的に推進しております。

また、認知症等によりご本人とのコミュニケーションや連絡が困難となった場合等に備え、あらかじめご家族の連絡先を登録いただく「ご家族登録制度」を導入しております。



大同生命は、中小企業のお客さまに「最高の安心」と「最大の満足」をお届けするために、さまざまなニーズにお応えする商品・サービスを提供しております。

## 「健康経営®」の普及に向けた取組み

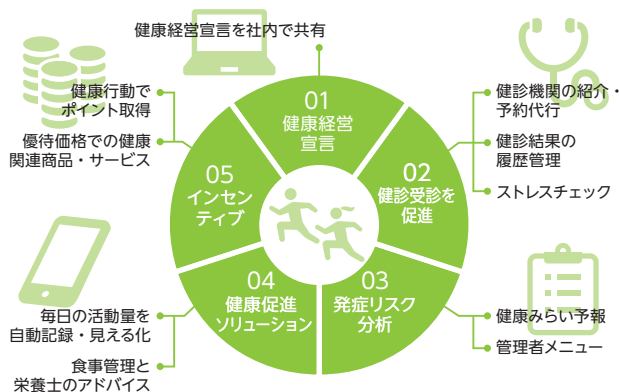
中小企業が戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践する「健康経営®\*」の普及に向けた活動「DAIDO KENCOアクション」に取り組んでおります。

この一環として、大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」を平成29年4月から提供し、健康リスクの把握や生活習慣の改善など、中小企業の「健康経営®」の実践を支援しております。

平成30年5月には、同プログラムでご提供している食事管理アプリに国内初となるAIによる画像解析機能を搭載し、スマートフォンで撮影した写真から食事内容を自動的に判定・入力できるようになりました。今後も、中小企業の「健康経営®」を促進し、従業員のみなさまが楽しく・効果的に健康増進に取り組めるよう、先進技術の導入や産学連携を通じて、同プログラムの機能を向上してまいります。



## 大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」の全体像



\*「健康経営®」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

## 「大同生命サーベイ」の実施

平成27年10月より、中小企業経営者を対象としたアンケート調査「大同生命サーベイ」\*を毎月全国で実施しております。

当社営業職員が経営者のみなさまを訪問し、「景況感」や「経営課題の解決に向けたお取組み」等に関する“生の声”をお聞きしております。調査結果はレポートにまとめ、経営課題の解決等にお役立ていただける情報としてご提供しております。

今後も、「中小企業のみなさまとともに歩む」という“想い”をより多くの方々にお伝えし、中小企業の永続的発展をご支援してまいります。

\*「大同生命サーベイ」は、大同生命ホームページ (<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/>) でご覧いただけます。

「販路開拓」や「資金調達」など「経営のヒント」となる情報を毎月調査・提供



T&Dフィナンシャル生命は、ゆとりあるセカンドライフのための生活資金の準備や遺族保障等のニーズに応える資産形成商品をお届けしております。

人生100年時代のニーズに合わせた商品を販売開始

### 「長寿プレミアム」販売開始

平成30年7月より、ますます長くなるセカンドライフを安心して楽しく充実してお過ごしいただくため、据置期間中の死亡保険金・解約払戻金を一時払保険料より低く抑える一方で、年金原資が増加する業界初\*1の仕組みの一時払個人年金保険を販売開始しました。

### 「みんなにやさしい終身保険」改定・販売開始

平成30年10月より、従来の「円貨コース」に加えて、円貨と金利の高い外貨を組み合わせ通貨分散することで、為替変動の影響を抑制しつつ死亡保障を増やすことが期待できる業界初\*2となる「通貨分散コース」を追加しました。

職業告知のみで最高95歳までのお客さまに、安心して死亡保障を確保していただけます。

\*1 平成30年6月末時点、\*2 平成30年8月末時点 ともにT&Dフィナンシャル生命調べ



## T&Dアセットマネジメント

T&Dアセットマネジメントは、T&D保険グループの資産運用会社として、「顧客本位」を経営理念に掲げるとともに、「Make a Difference (違いを創造する)」を行動指針として、特長のある運用商品やサービスを提案・提供することにより、お客さまの資産形成に寄与できるよう努めております。

7月に設定した「ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド」について、お客様がファンドに興味を持ち、商品を正確に理解できるよう、運用手法の特徴を分かりやすく動画にまとめホームページ\*に掲載しました。

また、投資先企業の選定にあたり、ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素を取り入れることにより、投資リターンの上と同時に、持続可能な社会形成への貢献も目指しております。



\*T&Dアセットマネジメントホームページ  
(<http://www.tdasset.co.jp/>)

## ペット&ファミリー

少額短期保険株式会社

ペット&ファミリー少額短期保険では、“ペットライフを充実させる情報格納庫”「Pet News Storage\*」をホームページで公開しています。

6月にサイトリニューアルを行い、視認性を高めるとともに、継続的な情報発信を行っています。大切な家族であるペットへの理解を深め、ペットライフを充実させる内容が満載です。

今後とも、より良い商品・サービスの提供により、お客さま満足度の向上に努めてまいります。

### 【掲載中の記事のご紹介】



熱中症は愛犬の命を瞬時にうばう！  
病気のサイン、対策、応急処置を知っておこう



猫の老化症状、6つのサイン  
～あなたの猫は大丈夫？～

\*「Pet News Storage」ホームページ  
(<https://www.petfamilyins.co.jp/pns/>)

# T&D保険グループインフォメーション

HD T&Dホールディングス T 太陽生命 D 大同生命 F T&Dフィナンシャル生命

4月 ● **T** 「太陽生命ウィメンズセブンシリーズ2018」(女子7人制ラグビー) への特別協賛

6月 ● **D** オーストラリアの生命保険グループ「インテグリティ社」への出資・提携

**F** 「日本ろう者サッカー協会」とオフィシャルパートナー協定を締結

**HD** スイスのデジタルヘルス企業「ダカドゥ社」と協働に関する基本合意を締結

7月 ● **HD** 「Try & Discoverフォトコンテスト」を開催

当社グループの経営理念のキーワードである「Try&Discover(挑戦と発見)」をテーマにフォトコンテストを開催し、21,849件のご応募をいただきました。

入賞作品は当社ホームページに掲載



8月 ● **HD** 「国内劣後特約付無担保社債」の発行

**T** 次世代携帯端末「太陽生命コンシェルジュ」を導入

音声認識機能を活用することで、手の不自由なお客さまのご負担軽減や、カメラ機能の活用によるスピーディな給付金のお支払いを実現。

カメラ機能を活用したお支払い請求手続き



9月 ● **HD** 「T&D保険グループCSRレポート」の発行

10月 ● **D** 「第18回全国障害者スポーツ大会(福井しあわせ元気大会)」への特別協賛

のべ約350人の役職員等が運営ボランティア等に参加。会場に設置された「大同生命ブース」では、選手を含め多くの方々と交流。

開閉会式を含め約9万8,600人が参加して行われた第18回大会



**T** 「UCDAアワード2018」で「特別賞」を受賞

「太陽生命コンシェルジュ」の契約申込手続き画面が優れたコミュニケーションデザインとして、「見やすい、わかりやすい、伝わりやすい」の観点から受賞。

**D** 「株式会社りそな銀行」との営業分野における業務提携

# 株式のお手続きについてのQ&A

## Q.1 株券が見当たらない

**A.1** 平成21年1月の株券電子化により、株券は無効（廃止）となりました。株主の権利（株主総会での議決権行使、配当金の受け取り等）は、証券会社の口座または三菱UFJ信託銀行の特別口座（Q.2参照）にて管理されています。

## Q.2 特別口座とは何ですか

**A.2** 証券会社に預けなかった当社の株式は、三菱UFJ信託銀行に開設された口座（特別口座）にて管理しています。特別口座は株式の取引口座ではありませんので、特別口座の株式を売買・譲渡・贈与するには、あらかじめ証券会社にご本人の取引口座を開設し、株式を振り替える必要があります。

## Q.3 100株未満の株式は市場で売買できないのですか

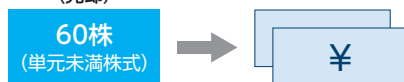
**A.3** 単元未満（100株未満）の株式は、市場では売買できません。下記のような単元未満株式の買取・買増制度がありますのでお申し出ください。（お申し出先は、Q.6参照）

### 買取・買増制度の例（60株ご所有の場合）

#### 買取請求制度

当社株式60株を当社へ売却し、代金を受領する。

（売却）



#### 買増請求制度

当社株式40株を当社から購入し、100株にする。

（購入）



\* 買取・買増価格は、株主名簿管理人に各請求書が到着した日の東京証券取引所の終値

## Q.4 太陽生命・大同生命の保険に加入していて株式が割り当てられたが、取得価格を知りたい

**A.4** 太陽生命・大同生命の組織変更（株式会社化）に伴い割り当てられた株式の取得価格・時期・証明書発行依頼先は次のとおりになります。

太陽生命	1株：7万5,000円 (平成15年4月)	太陽生命お客様 サービスセンター <b>0120-972-111</b>
大同生命	1株：27万円 (平成14年4月)	大同生命株式 専用ダイヤル <b>0120-259-233</b>

\* 平成16年4月のT&Dホールディングス設立、平成23年10月の株式分割に伴い、現在では太陽生命1株に対し当社株式110株（取得価格は当社株式1株682円相当）、大同生命1株に対し当社株式200株（同1,350円相当）となります。

## Q.5 マイナンバーの届出は必要ですか

**A.5** マイナンバーおよび法人番号は、「配当金に関する支払調書」などの法定書類に記載が必要のため、お届け先をお願いします。（お届け先は、Q.6参照）

## Q.6 住所変更・改姓等の各種手続きの申し出先（届け出先）を知りたい

**A.6** 株式の管理口座に応じ、下記のとおりお申し出先（お届け出先）が異なります。

管理口座	お申し出先
証券会社の口座	お取引の証券会社
特別口座	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 *住所・電話番号は、次ページをご確認ください。

\* 特別口座の有無がご不明の場合には、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

## 会社概要 (平成30年9月30日現在)

名称(商号) 株式会社T&Dホールディングス  
所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号  
代表電話 03-3272-6110  
設立時期 平成16年4月1日  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
基準日 定時株主総会において権利を行使できる株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載・記録された株主といたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
特別口座 東京都府中市日鋼町1-1  
口座管理機関  
○テレホンセンター  
Tel 0120-232-711  
(土・日・祝祭日等を除く9:00~17:00)  
○郵送先  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

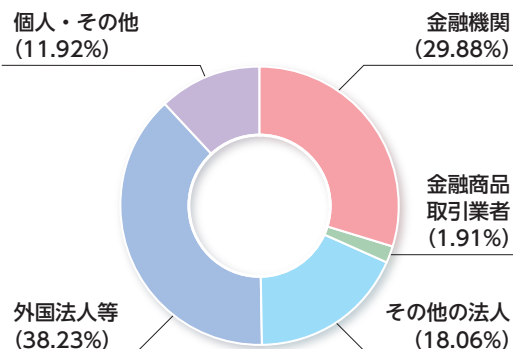
## 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	1,932,000千株
発行済株式の総数	655,000千株
株主数	225,780名

### 株式分布状況

#### ●所有者別株式分布状況



当社の情報はホームページ・Facebookにてご覧いただけます。



#### ■ホームページアドレス

<http://www.td-holdings.co.jp/>

#### ■スマートフォンでもご覧いただけます。

画面のサイズに応じて自動的にみやすくなるように設定されていますので、業績ハイライトのグラフや表等もご覧いただくことができます。



#### ■Facebook

<https://www.facebook.com/td.holdings.inc/>



本紙は、植物油インキを使用しております。